

# 観光ルート開発モデル（旅行事業者対象ハイグレード）業務実施報告書（概要版）

## 事業目的

多摩地域で食に携わる生産者と生産現場を巡る、多摩の食にフォーカスをあてた観光ルートを造成するとともに、知られていない多摩の食の魅力を伝えるためにファムトリップを実施し、参加者（観光事業者対象）から評価をもらい、地域に還元できる事業展開の可能性を探っていく。

## 実施内容

多摩の“食”に着目し、その地域資源や地域特性を感じられる観光ルート「多摩ガストロノミー 日帰りファムトリップ」を北と南の2ルートで造成し、実施。

### 2021年11月25日（木）実施 北ルートの行程

- ①奈良山園（東久留米市）での蜜蝋ろうそく体験⇒②繭蔵（青梅市）にて昼食
- ⇒③西村園（瑞穂町）にて茶畑見学⇒④かわなべ鶏卵農場（青梅市）にて見学
- ⇒⑤小澤酒造（青梅市）の酒蔵見学⇒⑥多摩ガストロノミーディナーの提供



### 2021年12月2日（木）実施 南ルートの行程

- ①伊藤養鶏場（立川市）にて見学⇒②燈々庵（あきる野市）にて昼食
- ⇒③近藤醸造（あきる野市）にて見学と醤油作り⇒④古里・わさび田（奥多摩町）の見学
- ⇒⑤小澤酒造（青梅市）の酒蔵見学⇒⑥多摩ガストロノミーディナーの提供

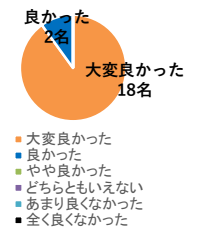
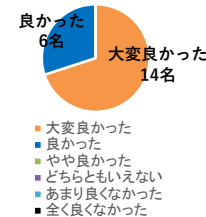


## アンケート結果（北ルートと南ルートの合算）

ファムトリップへの評価は、参加した全員の方から満足した結果が得られた。また、多摩エリアに多くの観光資源があることを感じてもらい、生産者や生産現場から多摩の食の魅力を引き出せる結果となった。

Q：ファムトリップ全体を通していかがでしたか？

Q：ファムトリップの中の地域や生産者のもてなしやサービスはいかがでしたか？



Q：今回のファムトリップに参加して、多摩エリアを目的地とする商品を作成または販売する場合には、取り入れたいと思ったポイントを教えてください。※一部抜粋

- ・都心から近い、自然のあるスポットの中で、有機栽培等の新しいポイントにも対応していたところ。
- ・地産地消のディナーコース
- ・生産者さんの熱い想いは、会ったからこそより伝わるものだと思うので、取り入れたい。

## 事業の成果

- ・今回のファムトリップ造成にあたり、多摩エリアの食を支える多くの生産者と出会えたこと、またその魅力をコンテンツ化してモニター事業を実施できたことが大きな価値となった。
- ・観光事業者の方々に参加してもらい、観光のプロの視点から高評価を頂いた。今後、観光会社様のツアー造成の参考になり、連携できる可能性もできた。
- ・生産者と会って話を聞き、最後のディナーで生産者の顔や聞いた話を思い浮かべながら、生産した食材を食べられることが、「1つのストーリー」となっていることが魅力的だった。

## 課題と今後の展開

- ・課題としては、時間が限られているためタイトなスケジュールになったこと、実施する時期の適切なタイミング（冬は寒さや鳥インフルエンザの懸念あり、一方多摩の観光客が減少する冬のほうが経済効果はもたらす）などをどうするかが挙げたので、そちらは今後改善するようにしていきたい。
- ・日帰りだと早朝から夜遅くまでの拘束になってしまい、参加者の負担も大きいので、宿泊パターンも検討できるかは考えていきたい。
- ・コロナウイルスの感染状況にもよるが、今回出会えた生産者とのコンタクトは定期的には実施しつつ、一部の生産者でもいいので、弊社が行う観光系事業に参画してもらうことを検討していく。